

\*\*\*\*\*

## 東海3県の「土砂災害警戒情報」を 10月1日よりデータ放送で対応開始

固定・ワンセグの気象メニューに「土砂災害警戒情報」を追加

\*\*\*\*\*

メ〜テレ（代表取締役社長 堀 鐵藏）は、新たな防災気象情報として発表が始まった「土砂災害警戒情報」を、固定・ワンセグのデータ放送メニューに10月1日より追加し、気象情報における防災コンテンツのひとつとして運用を開始した。

### (1) 土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、防災気象情報のひとつで、次のようなものである。

『土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった市町村を特定し、都道府県砂防部局と気象台が共同して発表する情報です。市町村長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難の判断等に利用できることを目的としています。平成19年度末までに全国の都道府県で運用を開始することを目標に、準備の整った都道府県から順に運用を開始することになっています。』

（かぎカッコ内、気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/> より引用）

メ〜テレの放送エリアでは、愛知県が8月31日より、三重県が9月1日より運用を開始しており、岐阜県も今年中に運用開始の予定である。

### (2) データ放送での対応と親和性

メ〜テレのデータ放送は、運用が開始されたばかりの当社エリアにおける「土砂災害警戒情報」にいち早く対応。データ放送における防災コンテンツのひとつとして、気象情報内のメニューに追加する形で、10月1日より運用を開始した。

（運用協力：株式会社ウェザーニューズ）。

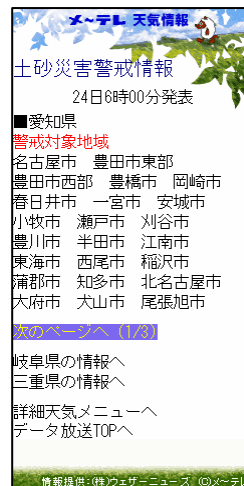
土砂災害の危険性は、事前の長雨や地盤状況などの要素で、少雨や晴天時でもその危険性が高まったり、長期的に警戒状態が継続したりするなど、視聴者の実感値とずれる場合が考えられる。

「土砂災害警戒情報」は速報警戒型というよりは、長期継続警戒型の情報といえるが、映像・音声のみの従来の放送サービスでは、警戒情報の発生・解除といった「時点情報」はフォローできても「継続情報」のフォローが難しかった。

データ放送は、情報を保持し、視聴者の任意のタイミングでのアプローチにも対応可能な特性を持っており、情報更新も柔軟に可能である。継続警戒型の「土砂災害警戒情報」は、こうしたデータ放送の持つ特性と非常に親和性が高いといえるもので、メ〜テレでは、データ放送側での運用開始により、映像・音声との相乗効果で、より厚みのある防災情報対応が可能になるものと考えている。

### (3) データ放送による防災情報への取り組み

メ〜テレのデータ放送では、今回新たに対応する「土砂災害警戒情報」以外にも、「大雨・大雪情報」「台風情報」「地震情報（発生系）」「東海地震情報（予知系）」といった防災メニューに対応している。それぞれに情報特性が異なる部分もあるが、映像・音声との連動対応や、表示方法の工夫などを重ね、新たなメニュー追加なども視野に入れつつ、エリア視聴者に、地上デジタル放送の特性を生かした、より充実した放送サービスを行っていきたいと考えている。



< 土砂災害警戒情報 データ放送画面イメージ >  
※左より、固定・ワンセグ（データ部分・詳細情報）

この件に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

<お問い合わせ先> メ〜テレ（名古屋テレビ放送 <http://www.nagoyatv.com/>)  
 【デジタル事業部】 福嶋 更一郎 古賀 健介 西川 雅巳 大沢 祐行  
 【社長室】 多湖 慎一  
 【編成部】 水元 利香  
 【ニュース情報センター】 五十嵐 信裕  
 TEL : 052-331-8111（代表）